

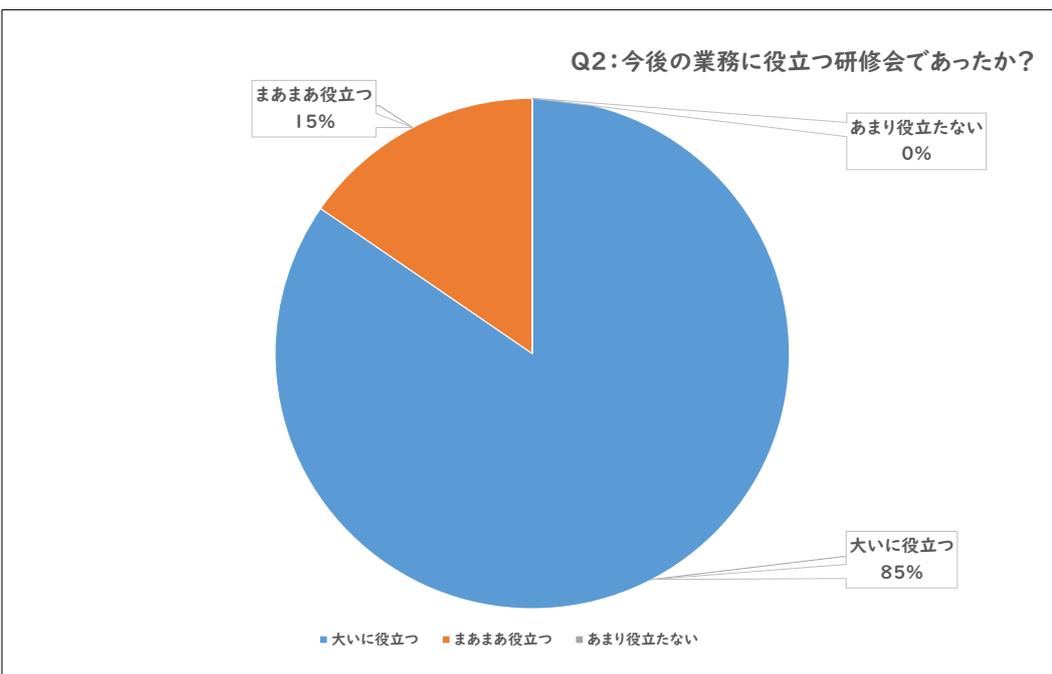
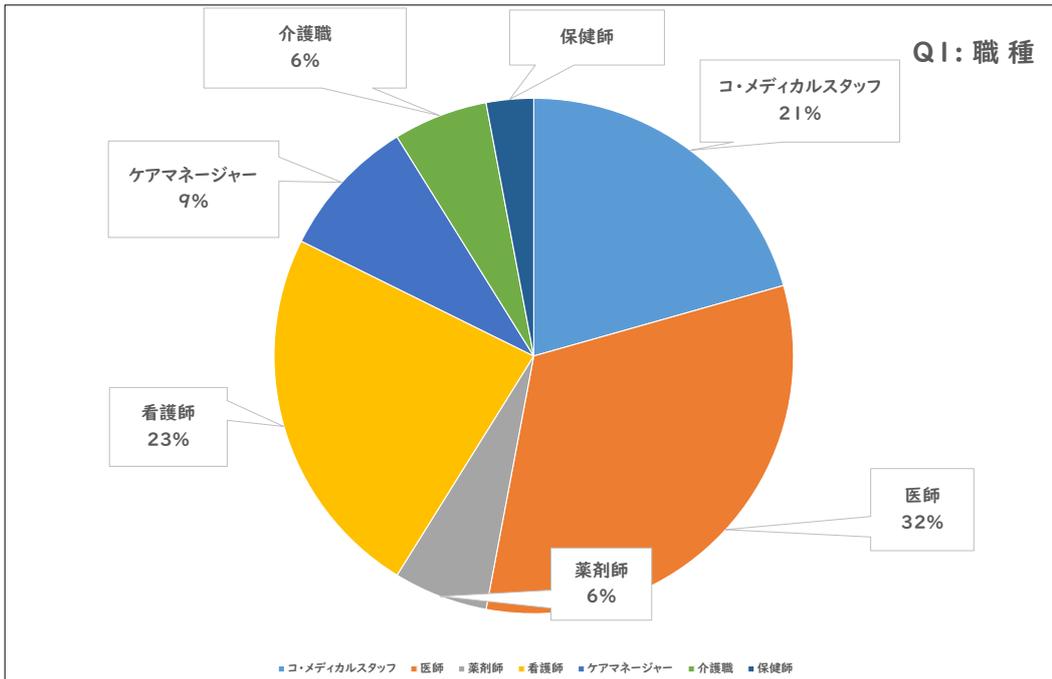
【令和7年度 感染症多職種連携研修会】

●開催日 令和8年2月4日(木) 19時~20時30分

●テーマ 「在宅・施設における尿路管理について」

●当日参加者 58人 (Zoom39人 YouTube19人) 参加率72.8% (申し込み 71人)

●アンケート回答数 26人 回答率 44.8%



●参加者からの感想

- ・大変勉強になりました。
- ・実際の臨床の状況が聞けて勉強になりました。
- ・とてもわかりやすく示唆に富む内容でした。
- ・わかりやすい
- ・再確認できました。
- ・尿道カテーテルについて日頃困っている疑問等が解決して勉強になった。
- ・日頃の疑問が解決しました
- ・わかりやすく解説していただきました。在宅サービス向けに、もう少し事例を交えて教えていただきたかったです。
- ・尿道カテーテルはできる限りしない方が良いことを再認識できました
- ・大変分かりやすい説明でした。支援の際の判断にしていきたいと思います。
- ・研修会で知り得たことを頭に入れ日々の仕事の中で活かしていけたらと思いました。ありがとうございました
- ・カテーテル留置必要の有無、抗菌剤使用のタイミングや期間について大変勉強になりました。
- ・良かった
- ・日頃の疑問をわかりやすく説明をうけることができた。
- ・疑問に思っていた事などが解決できました
- ・日頃の疑問を分かりやすく教えて頂いた
- ・日頃解決できず、もやもやしていたところが、大分整理できました。ありがとうございました。
- ・良かった。今後の参考になった。
- ・勉強になりました
- ・この地域の大変素晴らしい方のご講義を拝聴出来勉強になりました。ありがとうございます。
- ・普段安易に排尿管理のためにカテーテル留置すればいいのにと感じていました。また、カテーテル留置でのリスクも多々あるのだと解り、今後ケア時に観察点がよりよくなると感じております。今後も分野別の講習があれば是非参加したいと思います。
- ・村木先生のもとても一緒に仕事をさせていただいております。いつもご指導いただき、本日の研修もわかりやすく今後の看護に役立てたいです。
- ・尿管カテーテルが挿入されたまま在宅医療に移行されると、なかなか、抜去するのが難しくなります。ポータブル残尿測定器があれば本当に良いと思います。
- ・なかなか聞けないお話をありがとうございました。カテーテル挿入の方はやはり尿結石のリスクが高い事、熱がでたから感染症ではない事は自己判断せず、再挿入してその後指示をもらう様にしていきたいとおもいました。
- ・利用者の尿バックが紫になり、心配することが多々ありますが、特に症状が無ければ問題無いとの事で安心出来ました、他の職員へも教える事が出来ます
- ・膀胱留置カテーテルの管理などについて基本的なことのエビデンスをふまえ、知識を更新できました。

●今後の研修会開催に関するご意見

- ・コロナ感染症の現在
 - ・そのほかの感染症についても企画してください。
 - ・がん疼痛管理
 - ・認知症の対応について
 - ・小児科、耳鼻科、皮膚科領域
 - ・排便、癌、呼吸器、脳について
 - ・心臓が悪く浮腫みがあり、浮腫みがさらに悪化し皮膚から浸出液が出ているような方のケアの仕方、四肢冷感がありチアノーゼが出ている方のケアの仕方を勉強したいです。
- 最後の迎え方で、強く痛みを訴える方へのケアと家族への対応

●その他、ご要望・ご意見

- ・特になし